

「いわていきいきプラン2020(岩手県高齢者福祉計画・岩手県介護保険事業支援計画)」(最終案)の概要

目指す姿

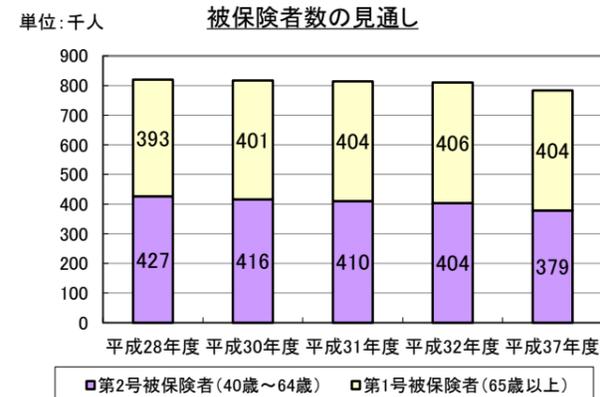
高齢者が、住み慣れた地域で安心して幸福に生活し続けることができる地域包括ケアのまちづくり

高齢化の進展と介護給付費の推移

1. 高齢化の進展(H28→H32→H37)

○第1号被保険者(393千人→406千人→404千人)

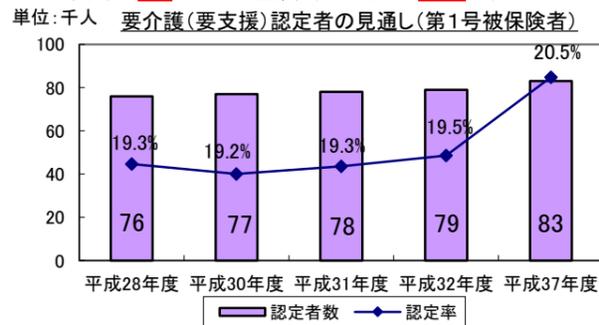
・4年間で1万3千人の増加



※平成28年度については、介護保険事業状況報告(暫定値)。
平成30年度以降については、市町村推計値(暫定値)

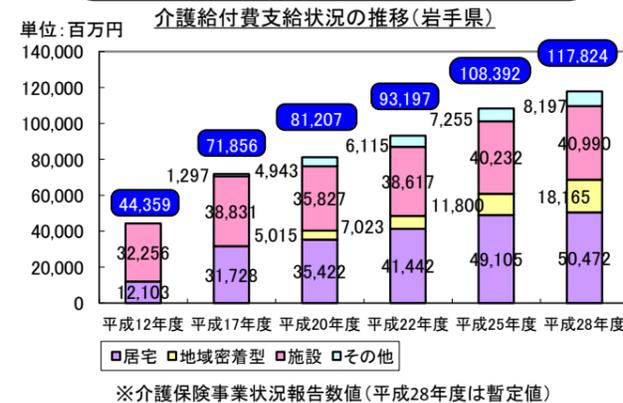
○要介護等高齢者(76千人→79千人→83千人)

・4年間で3千人の増加、9年間で7千人の増加
・認定率は4年間で0.2ポイント上昇(19.3%→19.5%)、9年間で1.2ポイント上昇(19.3%→20.5%)



※平成28年度については、介護保険事業状況報告(暫定値)。
平成30年度以降については、市町村推計値(暫定値)

2. 介護給付費のこれまでの推移



※介護保険事業状況報告数値(平成28年度は暫定値)

いわていきいきプラン2020

1. 計画策定の趣旨

- 県では、高齢者の総合的な保健福祉施策の基本的な方針や施策の方向性を明確にし、市町村が行う介護保険事業の円滑な実施を支援するため、県高齢者福祉計画及び県介護保険事業支援計画を一体のものとして策定し、「健康安心、福祉社会」の実現に取り組んできました。
- 介護保険事業支援計画は、介護保険法の規定により、3年を1期とした計画とされています。また、高齢者福祉計画は、介護保険事業支援計画と整合性を図って見直しすることが求められていることから、新たに「いわていきいきプラン2020」として策定し、高齢者が住み慣れた地域で安心して幸福に生活し続けることができる社会の構築に向けて取り組んでいくものです。 <計画期間：平成30～32年度>
- 今回の計画は、地域共生社会の実現に向けて、ソーシャル・インクルージョン(共に支え合う)の観点に立ち、本県の実情に応じた地域包括ケアシステムの構築及び深化・推進を目標とし、平成29年度の介護保険制度改正を踏まえ、平成37(2025)年までの中長期的な視野に立った施策展開を図るものとします。
また、沿岸被災地においては、復興と新たなまちづくりに向け、岩手県東日本大震災津波復興計画等を踏まえた施策展開を図るものとします。

2. 計画の性格・推進

- この計画は、老人福祉法及び介護保険法に基づいて策定するものであり、本県の高齢者福祉・介護施策を推進する実施計画であるとともに、県民、事業者、行政それぞれの行動指針となるものです。
- いわて県民計画、岩手県保健医療計画、岩手県地域福祉支援計画、岩手県東日本大震災津波復興計画等の各種計画との整合と調和を図りながら、高齢者の福祉・介護施策を総合的に推進する計画です。
- 計画の推進に当たっては、毎年度、県計画及び市町村計画の計画目標の達成状況を点検し、施策の実施状況を分析・評価のうえ、効果的な施策の推進を図ります。

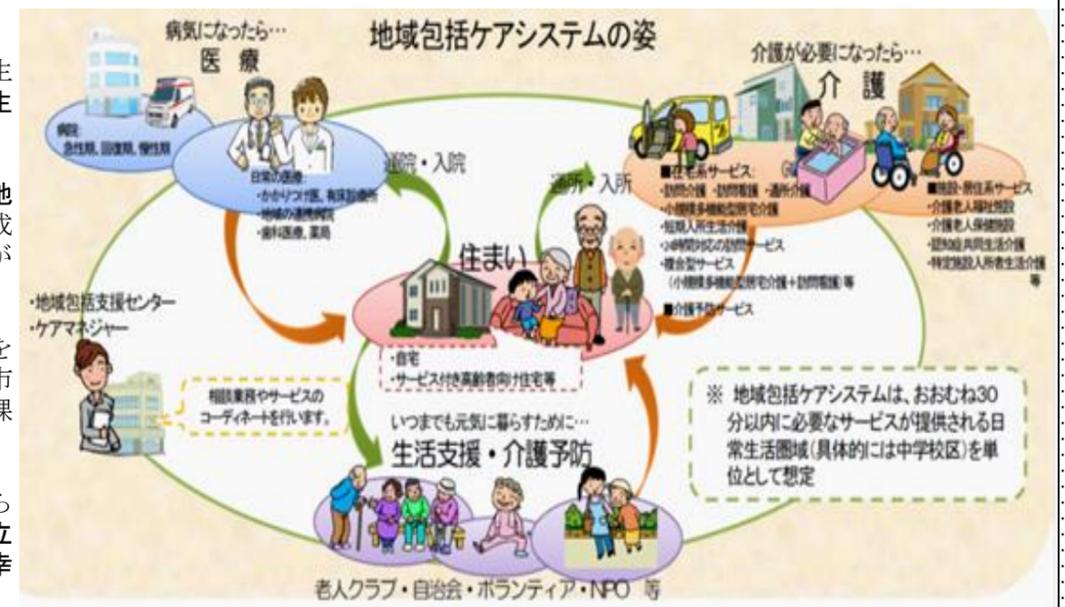
3. 施策推進の基本方針

高齢者が、住み慣れた地域で安心して幸福に生活し続けることができる地域包括ケアのまちづくり

○ 平成37(2025)年には、県民の3人に1人以上が高齢者になると見込まれる本県において、豊かさやゆとりを実感できる魅力ある地域社会を持続的に築いていくためには、高齢者も意欲・能力に応じた力を発揮することが重要です。

- このため、高齢者がこれまで培ってきた豊かな経験や知識、技能を生かしながら、地域社会の重要な構成員として主体的に活動し、健康で生き生きと暮らせるよう、環境づくりを進めます。
- また、介護や支援が必要な状態になっても、可能な限り住み慣れた地域で生活し続けることができるよう、団塊の世代が75歳以上となる平成37(2025)年までに、医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスが切れ目なく提供される「地域包括ケアシステム」の構築を進めます。
- 地域包括ケアシステムの構築は、地域の創意工夫のもと、将来の姿を見据えた「まちづくり」の一環として位置づけることが重要であり、市町村を中心として、保健・医療・福祉等の関係者や地域住民が地域の課題を共有し、協力して資源開発や政策形成につなげることが必要です。
- 施策の展開に当たっては、若い人は「支える側」、高齢者は「支えられる側」といった画一的な考えではなく、高齢者自身が支える側に立つことも想定しながら、世代を超えて地域住民が共に支え合い、共に幸せを実感できる地域包括ケアのまちづくりを目指します。

【地域包括ケアシステムのイメージ】



いわていきいきプラン2020策定経過と今後の日程

平成29年8月～11月
・プラン(素案)の検討
・各保険者との調整

平成29年12月～30年1月
・関係者の協議の場の設定
・パブリックコメントの実施
・地域説明会の開催

平成30年2月～3月
・市町村計画のサービス見込量等の積上げにより県計画の目標量等を決定
・岩手県高齢者福祉・介護保険推進協議会での審議
・いわていきいきプラン2020策定

平成30年4月～
いわていきいきプラン2020施行